

明活山城作成碑 檢討

朴 方 龍

目 次

- . 序言
- . 作成碑 發見經緯 現狀
- 1. 發見緩緯 . 場所
- 2. 碑石 現狀
- . 碑文 判讀
- . 碑文 內容檢討
- 1. 碑文 文段構成
- 2. 力役動員 明活山城 規模
- 3. 碑文 職名 官位名
- 4. 立碑年代 建碑 가 問題
- . 結語

. 序言

明活山城 普門 南 明活山 頂部 「 山」(252m)
4.5 包谷式 石城 , 山 山頂(259m) 石城
5km 式 土城 山城 .
山城 王京 東 倭兵 王京 築城
, 實聖王 4 (405) 初築 .1)
慈悲王 16 (473) 城 同王 18 (475) 炤知王 10 (488) 國王 居城
城郭 .2) 炤知王 10 (488) 月城 還宮 眞興王 15

1) 三國史記 卷 第三 新羅本紀 第三 實聖尼師今 「四年夏四月 倭兵來攻明活城」

2) 上同書 同卷 慈悲麻立干 「十六年 秋七月 葺明活城」 「十八年春正月 王移居明活城」

(554)	眞平王 15	(593)	修築・改築	三國史記	3)	他 城廓
			山城	.(圖1, 2)		
	山城	石城	築造	築城碑가 完形	金石文 研究	古
代史				.(圖面1) 本稿	築城碑	發見經緯
現狀, 碑文	判讀, 碑文	解釋	力役動員	, 職名・官位名	立碑年代	等
本碑	名稱		明活山城築城碑」가		本碑	序頭 「...



圖1. 明活山城 全景(西에서)



圖2. 明活山城 北城壁(北에서)

3) 上同書 同卷 炤 知麻立干 「十年春正月 王移居城」 上同書 卷 第四 新羅本紀 第四 眞興王 「十五年秋七月 修築明活城」
 上同書 同卷 眞平王 「十五秋七月 改築明活城」



圖面1. 明活山城平面圖 (O表 作城碑 發見地點)

作成也」 銘文 「明活山城作成碑」 .4) 以下 略構
「作成」 .5)

・ 作城碑 發見經緯 現狀

1.發見經緯・場所

作城碑 慶北 慶州市 普門洞 432番地 居住 金奎植(當59歲)氏 .
氏가 1988 8 26 明活山城內 明活山葡萄園
慶州市 普門洞 田56番地 明活山城城壁址 가 가 가
幕 가 8 27 , 慶州市廳 埋藏文
化財申告 . 慶州市廳 文化課 가 古
碑 當 博物館 , 移置 碑石 前面

作成碑가 發見 明活山城 石城 北 城壁 , 城內 北
가 作成碑 城壁 가 露出
(圖 3, 4, 5). 城壁 明活山城 城壁 中 築城手法
가 . 城壁 下部幅 6 7 cm, 內壁高 約 3m
. 內壁 30×20m 自然石 水平 가 13 15
段 城石 臺間 雜石 . 城壁 斷面 內壁 外壁
雜石 (圖 6).

2. 碑石 現狀

66.8cm, 上部幅 29.6cm, 下部幅 31.0cm, 16.5cm . 形態 長

4) 李蘭暎 館長 敎示 依 「作城碑」 命名 .

5) 本 作城碑 本稿 記述 金石文 名稱 略稱 .

- ・ 蔚珍 鳳坪新羅碑 鳳坪新羅碑
- ・ 蔚州 川前里 書石 乙巳年 原銘 川前里 書石 原銘
- ・ 蔚州 川前里書石 己未年追銘 川前里書石追銘
- ・ 永川菁堤碑 丙辰銘 丙辰銘菁堤碑
- ・ 永川菁堤碑 貞元銘 貞元銘菁堤碑
- ・ 大邱 戊戌塲作碑 塲作碑
- ・ 丹陽赤城碑 赤城碑
- ・ 眞興王昌寧巡守碑 昌寧巡守碑
- ・ 眞興王磨雲嶺巡守碑 磨雲嶺巡守碑
- ・ 眞興王黃草嶺巡守碑 黃草嶺巡守碑
- ・ 南山新城碑 第一碑 南山新城 1碑
- ・ 南山新城碑 第九碑 南山新城 9碑
- ・ 關門城(新垓里城)銘文城石 第一銘文石 關門城 1銘文城石
- ・ 關門城(新垓里城)銘文城石 第十銘文石 關門城 10銘文城石



圖3. 作城碑 發見地點 (南)



圖4. 作城碑 發見地點 (南)



圖5. 作城碑 發見地點



圖6. 明活山城 北城壁

方形	中間部가	石質	南山新城3碑	背面	面
磨研	.			缺損	完形
.(圖 7, 8)					
碑文	前面	上部 2.5cm	, 下部	碑石	地下
cm				刻字	20
銘文	筆劃	刻明	總 148字	. 銘文	釘
				2 3回	筆劃
書體	六朝風	隸意가	楷書體	字徑	1.5 2.5cm 가
	(圖 9).				

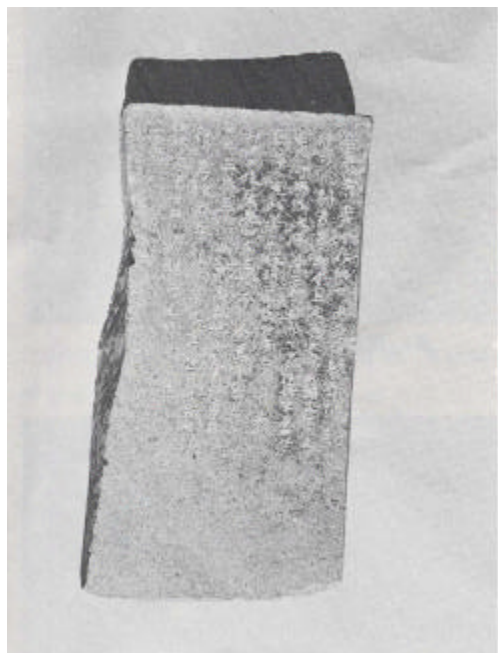


圖7. 作城碑 前面



圖9. 作城碑 拓本

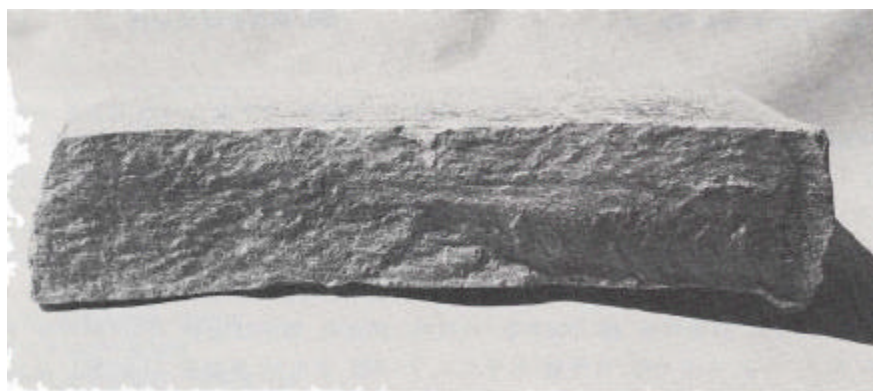


圖8. 作城碑 側面

碑文 判讀

本碑

完讀

提示

<表1>

1行

<表1>

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
書	作	行	四	△	五	匠	△	辛	①
寫	△	△	步	波	尺	人	△	未	②
人	十	作	三	日	一	△	尒	年	③
△	二	石	尺	徒	寸	智	利	十	④
△	月	立	三	受	△	休	吉	一	⑤
利	廿	記	寸	長	△	波	之	月	⑥
阿	曰	△	此	四	广	日	郡	中	⑦
尺	了	人	記	步	一	并	中	作	⑧
	△	△	△	五	伐	△	上	城	⑨
	卅	十	△	尺	徒	人	人	也	⑩
	五	一	△	一	作	抽	烏	上	⑪
	日	月	門	寸	受	广	大	人	⑫
	也	十	中	合	長	下	皆	邏	⑬
		五	△	△	四	干	△	頭	⑭
		日	南	△	步	支	智	卒	⑮
			△	步	五	徒	支	波	⑯
				長	尺	作	下	部	⑰
				十	一	受	干		⑱
					寸	長	支		⑲
					△	四			⑳
					△	步			㉑

※ 「△」은 判讀에 問題가 있거나 未讀임.

- 1- 「辛」字 異字 南山新城5碑, 壬申誓記石 等 干支
 .6) 1- 「十一」 問隔 「土」字
 「十一」 . 1- (17) 「邏頭本波部」 本碑文
 , 1- , (16) 「卒波」 中古期 金石文 本彼部 表記가 .
- 2行 2- 左房 「イ」 右房部가 「尹」 「申」 가 . 筆者
 「伊」字 . 2- 字劃 不分明 碑面 難讀 「皮」字

.7) 2- 刻 「𠂔」 以下 2- 完讀 .
 - 「鳥」가 「𠂔」 , 2- 「谷」 他例 異字
 「𠂔」 .8) 2- 「仇」 , 「𠂔」 「仇」字
 . 2- 19 5字 智支下干支」 가 . 2- 17 19 下端
 橫列 , 2 人名 2行 如否 不
 明
 3行 3- 가 3- 字 完讀 . 3- 磨滅 分明
 字 가 「比」字 . 3- 「休」 「休」
 異字 . 3- 「彼日」 「波日」 表記
 . 3- 「井」 壬申誓記石
 . 3- 劃 가 「二」 . 3- 「井」
 (中古期) 匠人 人名 「二人」, 「三人」
 表記 「二」 劃 劃
 「工」 . 3- 「𠂔」 左側 上部劃 3- 「𠂔」
 部 連接 . 「𠂔」 「𠂔」 異字 中古期金石文 .
 3- 21 2行 下部 銘文 3- 16 「徒」 「𠂔」 .
 4行 가 4- , 4- 20, 21 . 4- 劃7 分明 「𠂔」
 判讀不能 . 4- 「𠂔」 4- 20, 21 4-
 劃 分明 字 . 4行 注目 4- , 他字
 . 4- 「伐」 2劃 缺劃 「代」 表記 . 4-
 3- 16 「徒」 「徒」 .9)
 5行 5- , , 가 . 5- 不明 「利」字 .
 5- , 3- , 「波日」 . 5- 3- 16 「徒」 4-
 「徒」 . 5- 「三」 「三」
 1劃 添加 斜劃 「五」 . 5- 5-
 . 가 5- 「𠂔」 「爲」字 5- 가 「寸」
 . 5- 「十」 , 5- 17 「長」 5-
 一部劃 「高」 .10)
 6行 6- . 6- 6- . 6-
 「爲」 略字 「者」 . 6- 「古」 , 6-
 「他」 . 6- 文脈 方向

6) 秦弘燮, 「南山新城碑 綜合的 考察」 『三國時代 美術文化』, 同和出版公社(1976) p.147 .

7), 8) 任昌淳先生 敎示 2- 「皮」 , 2- 「谷」 .

9) 南山新城7碑 「徒」 「𠂔」 表記 , 同字 .

10) 5- 「高」 韓國古代史研究會(盧重國 · 朱甫暉 · 李文基 崔光植 · 李炯佑 敎授)

判讀 .

「西」 「向」 字形 「西」 . 6-鑲 方
 向 字形 「回」 .11)
 7行 1行 6行 數가 . 7- 7- ,
 7- 字形 「算」 「其」가 以下 文脈 「其」 判讀
 . 7- 「五」字 「立」字が . 7- 「喙」字
 「衆」 . 7- 「호」 字 .
 「至」가 . 7- 7- .
 8- 左房 「女」 右房 不分明 . 內容 「始」字
 . 8- 8- . 8- 右房部가 「積」
 . 8- 三十 「冊」 表記 , 8- 「也」 8- 3 4字
 .
 9- 「書」字 異字 「喜」 , 橫列 1段 書人 別途
 . 9- 9- , 9- , 劃
 「源欣」 . 9- 磨滅 前記 2- , 5-
 「利」 .
 以上 碑文 刻字 判讀 1行
 .
 1行 完讀 가 , 2行 2- (筆者「皮」) 2- (筆者「仇」)가 判讀
 가 字 人名 解釋 가 .
 3行 3- (筆者「比」) 字 人名 가 , 3- 「二」字, 「工」
 字 中 前者가 後者가 가 .
 「二人」 「工人」 匠人 現場
 .
 4行 4- , , 20 , 21 人名 .
 5行 , 5- 5- 前例 「作」 가 .
 南山新城碑 「受作」 關門城(新垓里城)銘文 城石 「受
 作」・「受地」・「作」 表記 本碑 「作受」 「受」 南山新
 城碑 關門城銘文城石 同一 12) . 5行 中 判讀
 5- 5- 가 字 .
 가 「十步」 判讀 5- 17 「長」 5- 城壁
 「高」가 .
 6行 6- 6- , 16 가 . 6- 南山新城碑 序頭部 共通
 「...崩壊...」 「者」 . 6- , 6- 가 「門」字

11) 6- 金源周先生 敎示 「回」 .

12) 拙稿, 「新羅關門城 銘文石 考察」, 『美術資料』, 第21號, 國立中央博物館(1982. 12) 本稿 <表 5>

本碑 發見 場所가 門 「古他」
 . 6- ,¹⁶ 6- 가 「南」 7- 「行」 築城位置
 . 「西南回行」 「回行」 城郭 「周廻」 通
 , 高句麗 平壤城銘文城石丙戌銘 「行」 意味 .13)
 7行 7- , , 가 難讀 . 7- 字形 「算」 「其」
 內容 指稱 順理 . 7- 「喙」 「衆」
 가 . 「喙」 「喙人^토」가 「()」
^토 」 解釋 人名 官位가 「喙」 .
 「衆」 7- 「至」 判誡 「衆人至」가 「(作成 立石記)」
 衆人 .
 8行 8- 1字 難讀 「始」 築城工事 「作始」 .
 8- 「也」 本文 中古期 金石文 用例
 注目 .14)
 9行 9- , 가 難讀 書寫人 人名 .
 銘文 判讀 判讀結果 綜合 <表2> .

本碑文 內容檢討

1. 碑文 文段構成

前章 判讀 碑文 文段別 解譯文 提示 .

- (1) 辛未年 11月 中 作成 .
- (2) 總 上人邏頭 本波部 伊皮^{牟利} 吉之 , 次 郡中上人 鳥大谷 ^{仇智} 支下干支 .
- (3) 工事監督 匠人 比智^休 波日 , 工事實務者 工人 抽^牟 下干支 徒() 가 4步 5尺 1寸, ^牟 叱^牟 一伐 徒()가 4步 5尺 1寸, 利 波日 徒 가 4步 5尺 1寸 作受 . 合 10步 , 14步 3尺 3寸 .
- (4) 記 10步, 14步 3尺 3寸 城壁 古他門 西南 回行 .
- (5) 作成 立石記 衆人 .
- (6) 11月 15日 工事 始作 12月 20日 合 工事期間 35日 .
- (7) 書寫人 源欣利 阿尺 .

13) 田中俊明, 「高句麗長安城城壁石刻の 基礎的研究」, 『史林』68卷 4號, (1985. 7) p.125 判讀文 移記

. 「丙戌十二月中 漢城下後乃 小兄文達節 自此西北行涉之」

14) 磨雲嶺巡守碑 黃草嶺巡守碑 1行 「 石銘記他? ?」 「也」字用例가 8-

〈表 2〉

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
書	作	行	四	利 ※	五	匠	伊 ※	辛	①
寫	始 ※	其 ※	步	波	尺	人	皮 ※	未	②
人	十	作	三	日	一	比	介	年	③
源 ※	二	石	尺	徒	寸	智	利	十	④
欣 ※	月	立	三	受	△	休	吉	一	⑤
利	廿	記	寸	長	叱 ※	波	之	月	⑥
阿	日	衆 ※	此	四	广	日	郡	中	⑦
尺	了	人	記	步	一	并	中	作	⑧
	積 ※	至 ※	者 ※	五	伐	工 ※	上	城	⑨
	廿	十	古 ※	尺	徒	人	人	也	⑩
	五	一	他 ※	一	作	抽	烏	上	⑪
	日	月	門	寸	受	广	大	人	⑫
	也	十	中	合	長	下	台	邏	⑬
		五	西	高 ※	四	干	仇	頭	⑭
		日	南	十 ※	步	支	智	卒	⑮
			回 ※	步	五	徒	支	波	⑯
				長	尺	作	下	部	⑰
				十	一	受	干		⑱
					寸	長	支		⑲
					△	四			⑳
					△	步			㉑

○「△」은 未讀임, 「※」은 問題点이 있는 字를 筆者가 判讀한 것임.

○本碑에는 띄어쓰기가 지켜지고 있으나 편이삼 띄어쓰기를 表示하지 않았음.

(1) 作城干支가 序頭, (2) 築城工事 總 人名, (3) 築城工事 監督 實
務者 人名, (4) 築城 位置, (5) 立石記人 數, (6) 工事期間, (7) 人名 順
文段

本碑 類似 體制 金石文 塲作碑(578年)가 石碑 共通 가

碑文 上部 下部 가 橫 , 銘文 橫列

文段構成 , 塲作碑 8行 「作事之」 文作人 人名 刻字
空間 9行

碑文 中間部 橫列 가 .
 中古期 金石文 「此」・「了」 가 .
 工事關係 碑石 .
 共通點 南山新城碑(591年) 職名 「尺」 表記
 作成碑 「人」 . 鳴作碑(578年) 職名 「大工人」, 「道尺」 「人」・「尺」
 混用 「人」 「尺」 過渡期的 樣相 .

2. 力役動員 明活山城 規模

(1) 力役動員 主體

力役動員 本碑石 主體가
 가 . 本碑文 地城名 上人邏頭 伊皮^나利 吉之
 出身部 本波部 郡中上人 仇^仇智支 下干支 出身地 烏大谷 .
 碑 建立主體가 地城 가 本波部

新羅六部中 喙部・沙喙部 名稱 中古期 金石文 本波部名
 . 本彼部 名 金石文 其他銘 <表3> .

<表3>

名 稱	年 次	本 彼 部
鳳 坪 新 羅 碑	524	卒波部
作 城 碑	551	卒波部
昌 寧 巡 守 碑	561	卒波部
磨 雲 嶺 巡 守 碑	568	卒波部
雁 鴨 池 出 土 漆 器 銘	推定7世紀後半	卒彼(宮)
三 國 史 記 (中 宗 壬 申 刊 本)	1512	卒彼部
三 國 遺 事 (中 宗 壬 申 刊 本)	1512	卒彼部

<表3> 本彼部 卒波 卒波 卒彼 順 變遷 .
 本波部 六部가 喙部・沙喙部 有力 部 . 金石文
 鳳坪新羅碑 本波部 大阿干(京位5官位) 高級官位
 가 人名 15) 524年 頃 本波部가
 . 本波部人 後代 金石文 昌寧巡守碑(561年) 及尺干(京位9官位)
 磨雲嶺巡守碑(568年) 小舍(京位13官位), 吉之(京位14官位) 時代가

15) 李文基, 「蔚珍 鳳坪 新羅碑 中古期 六部問題」 『蔚珍 鳳坪 新羅碑(假稱) 綜合的 檢討』, 韓國古代史研究會 學術 發表要旨, 韓國古代史研究會, (1988. 7) p.77.

(2) 力役動員 集團構成
作城碑 工事集團

<表4>

<表 4>

集團	順序	職 名	出身地	人 名	官 位	備 考
A	1	上人遷頭	本波部	伊皮尔利	吉之	
	2	郡中上人	烏大谷	仇智支	下千支	
B	B1	1 匠人	烏大谷	比智佐	波日	(并)
	B2	1 工人	烏大谷	拙 芦	下千支	(徒)
		2 工人	烏大谷	△叱芦	一伐	(徒)
		3 工人	烏大谷	△△利	波日	(徒)
C	1	書寫人	烏大谷	源欣利	阿尺	

<表4> 工事集團 A, B, C 3集團, B集團 B1 B2
集團 . A集團 築城工事 總 A-1 地方 築城工事
督勵, A-2 現地 力役 工事 가 . B集
團 工事實務者, B -1 3個 小集團 技術指導, B -1, 2, 3 築城 4步 5
尺 1寸 配當 技術指導者 力役人 . C 碑文 作成 刻字

3集團 築城工事 南山新城碑
19) 南山新城碑 作成碑 B集團 . 南山
新城碑 築城參加者 人名 列記 合, 作城碑
14步 3尺 3寸 3個 小集團 4步 5尺 1寸 再配當 . 細分
南山新城碑 文尺2人, 石捉人 3 4人 南山新城 築造 2
個 3個 小集團 細分 가 .
力役關係碑石 丙辰銘菁堤碑 . 貞元銘菁堤碑 . 塙作碑 . 南山新城碑 9基20) 本碑가 .
가 菁堤碑 2基 塙作碑 築堤碑 除外 城廓築造 碑石 南山新
城碑 9基 本碑가 . 碑石 城廓築造 關門城 銘文 城石 10
徊가 . 作城碑 南山新城碑 9基 가 南山新城碑가 가 明記
3基, 關門城銘文城石 10個 가 6個 表 提示

19) 李鍾旭, 前掲書 pp. 5, 6 <表1>

20) 南山新城碑 7基가 報告 第8碑 第9碑 筆者가 送年 收拾 小破片 .
第8 . 第9 「南山新城碑 第8碑 . 第9碑 對 」 題下 脱稿 紙面 所介

<表 5>

年 次	名 稱	擔 當 距 離		備 考
		長	高	
551年	作 城 碑 B ₂₋₁ 集團	4步 5尺 1寸	14步 3尺 3寸	抽下干支徒 作受
	作 城 碑 B ₂₋₂ 集團	4步 5尺 1寸		△北下伐徒 作受
	作 城 碑 B ₂₋₃ 集團	4步 5尺 1寸		△△利波日徒 受
	平 均	14步 3尺 3寸		
591年	南山新城 1碑	11步 3尺 8寸		△受
	南山新城 2碑	7步 4尺		阿且下村 受作
	南山新城 3碑	21步 1寸		喙部主刀里 受作
	平 均	約13步 2尺 6寸		
7世紀 後半	關 門 城 1銘文石	7步 1尺		居七山郡 受地
	關 門 城 2銘文石	4步 1尺 8寸		骨估 受地
	關 門 城 5銘文石	5步 5尺		金京(元千毛主) 受作
	關 門 城 6銘文石	5步 5尺		金京(道於) 作
	關 門 城 7銘文石	10步 2尺 7寸		切火郡 受地
	關 門 城 10銘文石	5步 △尺		△△郡 受地
	平 均	6步 3尺		

<表5> 中古期 南山新城碑 約 13步 2尺 6寸 本作城碑 13
步 3尺 3寸 가 統一 直後 7 關門城銘文城石
가 6步 3尺 , 1個 集團 가 .21)
作城碑: 「作受」・「受」 南山新城碑: 「受」・「受作」 「關門城」: 「受
作」・「受地」・「作」 , 「作受」 「受作」 「受地」 表記方式 様相
作成 後 碑文 作城碑 3個 分團 記載 南山新城碑 1
個 集團 , 關門城銘文城石 城石 略記
가 簡素化
作城碑 6行 「合高十步 長十四步三尺三寸 此記者古他門中西南回行」
, 集團 距離 14步 3尺 3寸 尺 1尺=25cm 換

21) 南山新城7碑 가表記 南山新城碑 (金昌浴, 「新羅中古 金石文人名表記」), 『慶北大學校 師範大學 歷史教育科 歷史教育論集』第4輯(1983) p.14 朱甫墩, 「雁鴨池出土 碑片 一考察」, 『大邱史學』第27輯, (1985) pp.2 4, p.6 等) 諸氏 見解가 筆者
同感 除外

算 22) 約 22.82m가 . 本文 3分團 城壁 城
 壁 10步 . 10步 60尺 1尺=25cm 15
 m가 . 或者 新羅城廓 城高가 15m .
 本碑 集團 城壁立地가 地形
 5世紀代 築造 報恩 三年山城 城高가 最大高 20m
 23) 城壁 狀態 明活山城 城壁 類似 (圖10,
 11)
 女牆 城高가 築城時 約 15m

, 古他門 西南 14步 3尺 3寸 本碑가 東便
 推定門址가 古他門 額號 .
 , 明活山城 作城碑가 收拾 本碑가 24)
 前記 <表5> 南山新城碑 約 13步 2尺 6寸 作城碑
 14步 3尺 3寸 兩 山城 大差 明活山城 築造
 時 南山新城碑 , 南山新城 築造集團數 200餘
 集團 數 力役集團 明活山城 築城 動員 .

3. 本碑 職名 官位
 作城碑 7人 人名 <表 6> 人名表記方式 中古期 法式

〈表 6〉

順序	職 名	出身地	人 名	官 位	筆	級
					京位	外位
A	上人邏頭	本波部	伊皮尔利	吉 之	14	
B	郡中上人	烏大谷	仇智支	下千支		7
C	匠人		比智休	波 日		10
D	工人		抽가	下千支		7
E			△叱가	一 伐		8
F			△△利	波 日		10
G	書寫人		源欣利	阿 尺		11

- 22) 本稿 1尺=25m 三國史記 卷 第四 新羅本紀 第四 眞平王 15年條 明活山
 城 城壁 가 3,000步 가 , 77城 約4.5km
 尺度 未詳 .
- 23) 成周鐸 「新羅 三年山城 研究」 『百濟研究』 第7輯, 忠南大學校 百濟研究所 論文集(1976. 12) p.8
 三年山城 城壁 가 13 20m , 西 北 壕壁 10m .
- 24) 朱甫敬, 前掲書(本稿 註21-) 南山新城7碑 「明活山城碑」 三國史記
 眞興王15年(554年) 碑 年代 . 碑石 明活山城 築城碑
 如否 斷言 本稿 除外 .

7人 人名 重複 職名 官位名 除外 職名 5個, 官位名 5個가 .

職名 .

上人邏頭 - 「上人邏頭」 「上人」 「邏頭」 . 邏頭 存在

가 南山新城1碑 「阿良邏頭」 同 4碑 上部가 「...

邏頭」 . 南山新城1碑 「阿良邏頭」 阿良邏 頭 阿良邏

郡太守 見解가 .25) 同4碑 . . .邏頭 同1碑 邏頭 地域名

, 古生村 有力 地域 「古生邏頭」 .26)

邏頭 郡, 村 等 地方官 地方行政區域 長 指稱 道使

政治的 邏兵 指揮官 .27)

作城碑 邏頭 前記 南山新城碑 가

「上人」 가 . 南山新城碑 邏頭 村名

「上人」 村名 . 「上人」 智德 佛弟子, 僧

侶 28) 佛教 ,

(年長者) . 鳳坪新羅碑 「大人」 比較

郡中上人 - 「上人」 前記 「 」

「 」

「郡中上人」 「上人」 上人邏頭 「上人」 相通

郡中上人 金石文 文獻 職名 .

筆者 南山新城碑 가 同2碑 5行 13字 「郡中 」 本作城碑

「郡中上人」 判讀 .29)

郡中上人 南山新城2碑 人名 滴記 , <表7> .

<表7> 郡中上人 B集團 .

A集團 3人 王京出身 職名 道使 京位 13 15官位 B集團

郡中上人 2人 地方出身 外位 4, 5 官位 .

上人邏頭 職位 . 出身地 . 官位 <表7> A集團 , 郡中上人

B集團 .

25) 末松保和, 前掲書 pp.486, 487.

26) 田中俊明, 「新羅の金石文(第7回) 『韓國文化』 6卷3號 (1984. 3) p.40.

27) 李鍾旭, 前掲書 pp. 39 41

28) 李熙昇, 『 』 民衆書林 第32刷 (1981. 12) p.1523

29) 南山新2碑 「郡中 」 從來 未讀 「村主」 判讀 . 秦弘燮, 前掲書 pp.129, 132

未讀 武田辛南, 「新羅の骨品體制社會」, 『歷史學研究』 299輯 (1965) p.11 , 李鍾旭, 前掲書

pp.5,8 南山新城1碑 「郡上村主」 「郡中村主」 . 筆者가 南山新城2碑

「郡中上人」 .

〈表 7〉

集團	順序	職 名	出 身 地	人 名	官 位	等 級	
						京 位	外 位
A	1	阿且芦村道使	沙 喙	勿 生 次	小舍	13	
	2	仇利城道使	沙 喙	汲 知	小舍	13	
	3	荅大支村道使	△ 喙	所叱 △ 知	△△	15	
B	1	郡中△△	沙刀城	牟 西 利 之	貴干		4
	2		久利城	△△ 利 之	撰干		5
C	1	匠尺	沙戸城	可 沙 里 之	上千		6
	2	文尺		美 叱 △ 之	一伐		8

「□」 글자는 확실하나 未讀인것

「△」 종래 未讀이거나 誤讀인것을 筆者가 고쳐 읽은것

郡中上人 地方 外位 7官位 以上 가 有力 者
가 職能 上人選頭 補佐 地域

匠人・工人 - 本碑 「匠人」 南山新城 1・2・4碑 「匠尺」 表記
「人」 「尺」 表記 差異 職能 同一
齋 新城碑 匠尺 嶺城工事 技術 解釋
30) 作城碑 匠人 工人 工人 地域
監督 地位 工人 南山新城 2・6碑 「工尺」 31) , 同 7
碑 塲作碑 「大工尺」 32) 作城碑 工人 職能

書寫人 - 碑文 刻字 書者 中古期 金石文 ,
鳳坪新羅碑: 「書人」, 川前里書石原銘: 「作書人」, 赤城碑: 「書人」, 昌寧巡守碑: 「書人」, 塲作
碑: 「文作人」, 南山新城 1・2・3碑: 「文尺」, 南山新城4碑: 「書尺」 表記
本碑 「書寫人」 書者 職名
作城碑 官位

<表6> 7名 人名 官位가 B・D C・F人名 官位가

30) 李鍾旭, 前掲書 p.23

31) 田中俊期, 「新羅の金石文(第6回)」, 『韓國文化』 5卷11號(1983.11) pp.38, 39 南山新城2碑 9行 從
來「匠尺」 判讀 「工尺」 , 南山新城6碑 1行 「工尺」 判讀
筆者 共努

32) 南山新城7碑 2行 「大工尺」 判讀

金昌浩, 「金石文 新羅 中古 地方官制」 『慶北大學校 師範大學 歷史教育科 歷史教育論集』 第
6輯, (1984) p.15 前中俊期, 「新羅の金石文(第8回)」 『韓國文化』 6卷3號(1984.3) p.39 權惠永 『新
羅外位制 成立 機能』 韓國精神文化研究院 附屬大學院 碩士學位請求論文 (1984) p.36 朱甫敬,
前掲書 pp. 4, 5.

吉之, 下干支, 波日, 一伐, 阿尺 5個 官位

吉之 - 三國史記 卷第三十八 雜誌 第七 職官(上)條, 「...十四曰 吉士 或云 稽知 或云 吉次...」

京位 14官位 吉士 「稽知」・「吉次」
本碑文 「吉之」 文獻 「吉次」 音似 京位 14官位 吉士
官位 吉之 本碑 官位名 黃草嶺巡守碑 磨

雲嶺巡守碑, 鳳坪新羅碑 「吉之智」

下干支 - 下 吉之 가 文獻 가

赤城碑가 發見

下干支 外位 6官位가 上干 注目 外位 7官位 「干」 比定 33)

最近 發見 鳳坪新羅碑 「下干支」 表記 昌寧巡守碑(561年) 以下

「干」 表記

波日 - 外位 10官位 「波日」 金石文 鳳坪新羅碑 作城碑

商山新城2碑(591年) 「彼日」 「波」 「彼」 本波部

「波」 「彼」 外位 10官位 「彼日」

法式 「波日」 時期 最少 551年 存續 가 591年 以前

一伐・阿尺 - 「一伐」 外位 8官位 周知, 「阿尺」 外位 最下級 官
位 外位 11官位 赤城碑・塙作碑・南山新城1碑

4. 立碑年代 建碑 가 問題

(1) 立碑年代

立碑年代 가 가 注目 本碑 1行 「**辛** 未年」

本碑 「**辛** 未年」 可能性 干支, 431年(訥紙王15年), 491年(炤知王1年), 551年(眞興王12年), 611年(眞平王33年), 671年(文武王11年)

古代史・金石文 研究成果 筆者 知見 431年

671年 年

代幅

491年 551年 611年 가 가

率碑 「?未年」 가

當時 國內政勢 新羅土內 王京人 地方民 200餘 大規模 集團 動
員 城

33) 下干支 外位 7官位 比定 見解 李基東 『新羅 骨品制社會 花郎徒』 韓國研究院 (1980. 11) p.388

發見 新羅最古 金石文 鳳坪新羅碑(524年) 作城碑 鳳坪新羅碑 33年 「癸未年」 (551年)

本碑 人名表記 方式 作城碑 人名表記 方式 中古期 金石支 同一 가 立碑年代 官位

吉之 京位 14官位 吉士 同一 官位 前記 , 吉士가 吉之 表記 金石文 昌寧巡守碑(561年) 磨雲嶺巡守碑(568年) 鳳坪新羅碑 「吉之智」 「智」字가 添加 中古期 官位 「知」 「第・帝智」等 尊稱語尾가 時代가 가 時點 下降 34), 見解 古代史研究者 法則 利用 例 短的 가 鳳坪新羅碑 「吉之智」 吉之 「智」가 524年 下限 本作城碑가 524年 以前 立碑 下干支 中古期 官位表記方式 年代가 簡略化 本碑 外位 7官位 「干」 「下干支」 表記 干群官位 語尾가 「干支」 「干」 時期 561年 立碑 昌寧巡守碑가 550年代 時點 自明 立碑年代 諸說 赤城碑 干群 官位가 「干支」 表記 561年以下 , 赤城碑 年代 研究成果 550 555年代 . 35) 「干支」 「干」 表記가 550年(赤城碑 推定上限年代) 561年(昌寧巡守碑 年代) 作城碑 干群 表記가 「干」 「下干支」 本碑 立碑年代 「?末年」 551年(眞興王12年) 本碑 干群 表記가 551年(12月 207) 「干」 「干支」 表記 作城碑 立碑年代 551年(眞興王12年)

(2) 建碑 가

本碑 明活城 築造 工事期間 35日 南山新城 築造 南山新城碑 序頭部 「辛亥年二月廿六日 南山新城作·」 工事始作日 , 三國史記 卷第四 新羅本紀 第四 眞平王 十三年條

34) 武田幸男, 「金石文資料からみた新羅官位制」, 『江上波夫教授 古稀記念論集 歴史篇』(1977. 5).

35) 朱甫暎, 前掲書 pp.7, 8 赤城碑 年代 550年

「秋七月 築南山城 周二千八百五十四步」 「桃七月」 竣工脚 5個月

.36)

南山新城 城壁 推定城高 規灌 明活山城 1個集團

가 大差 全國的 力役動員 .

明活山城 35日 南山新城 築造

5個月 再考 餘地가 .

前記 三國史記 記錄 南山新城碑 「二月廿六日」 築城工事 始工日

字가 竣工日字 ?

場作碑(578年) 1行 「戊戌年 四月朔十四日...」 築堤日字가 明記 8

行 工事 日數가 13日 「四月朔 十四日」 完工日字 .

中古期 金石文 貞元銘菁堤碑(798年) 1行 初頭 「貞元十四年戊寅 四月十三

日...」 5行 6行 「...此爲 二月十二日 元 四月十三日 間中了...」가 序頭

部 「四月十三日」 工事始工日字가 完工日字 記載 .

가 現代 工事 竣工 後 立碑 常例가 .

三國史記 記錄 7月 竣工 農繁期 築城工事

當時 經濟生活 農業 農繁期 全國規模 力役 徵集

南山新城碑 「二月廿六日」 着工日字 竣工日字

立碑位置

南山新城碑 9基 中 碑石 立碑狀態 推定 1基 .

作城確 申告人 位置變更 當局 申告 發見狀況 位

置

出土當時 狀況 8月 初 暴雨 城壁

切開 小河川 水量 城壁

.37)

碑石 收拾 位置가 城壁 內側 外側 築城當初 城壁

外側 立碑 .

36) 大阪金太郎, 「藝州に於て 新に發見也られたる 南山新城碑」, 『朝鮮』 第235號 (1934. 12) p.7

「二廿六日」 始工日字 . 素弘燮, 「新發見 南山新城碑 小考」 『歷史學報』 13輯, 歷史學合(1960. 10) p.144 「二月廿六日」 竣工日字 . 秦弘燮, 「南山新城碑 綜合的 考察」 『歷史學報』 26輯, 歷史學會(1965. 1) p.20 本稿 改稿 前掲書(註6) pp.122, 154, 156 始工日字 修正 . 田中俊明, 「新羅の金石文(第5回)」 『韓國文化』 5卷9號(1983.9) p.39 「二月廿六日」 始工日字 .

37) 申告人 金奎植氏 談

結論 築城完了 後 作城碑 城壁外壁 立碑

高句麗 平壤城銘文城石 7世紀後半 關門城(新垈里城) 銘文城石

城壁 外壁 下部城石 築城關係 記錄 刻字

1個 集團 城壁 表

作城碑 A・B・C集團：4步 5尺 1寸

南山新城 1碑：11步 3尺 8寸

南山新城 3碑：21步 1寸

關門城1銘文石：4步 1尺 8寸

關門城7銘文石：10步 2尺 7寸

集團 1寸 明示 2 3寸 1尺 表記

寸

築城工事 時 作受 1個 集團 人員數 築城位置 地形條件

多小

作受 區間 角木()等 , 築城 完了 竣工檢

査(?) 差異が 最終作受距離 碑石 城石 銘記

作受 가 人名 作受距離 記錄 築城碑 城壁 外壁 立碑

.38)

V. 結語

作城碑 檢討

本碑 가 要約 本稿

1. 中古期 他金石文 本波部 本碑 立碑年代 551年頃

地方官 六部 中 喙部, 沙喙部 有力 勢力部

存在

本波部 表記 本波部 561年(昌寧巡守碑 立碑 年代)以後 本波部.

本彼波部 變遷

2. 明活山城(石城) 築城工事 551年代 新羅嶺土 內 地城民 徵集 200

餘 力役 集團 動員 平均 14步 3尺 受作

南山新城碑 1基 碑石 大集團 表記 作城碑 大集團 3個 小分團

細分

南山新城 1基碑 2 3 小分團 編制 推定

3. 作城碑가 發見 北 門址 古他門 , 古他門 城壁 10步< 15 m > .

4. 本碑 職名中 「邏頭」 存在 南山新城 1· 4碑 「上人邏頭」 職名 .
「郡中上人」 存在 本碑 南山新城 2碑 「郡中」 郡中上人 判讀 .
本碑가 發見 南山新城碑 未解決點 補完 意義

5. 作城碑 立碑年代 「?末年」 「吉之」 · 「下干支」 官位表記方式 等 551年 (眞興王12年) 推定 .

6. 明活山城 築造 工事期間 35日 .
南山新城 築城時(591年) 見解 5個月
1 2個月內 築城完工 推定 南山新城碑 序頭部 記載
「二月廿六日」 竣工日字 .

7. 作城碑 建碑位置 城壁 外壁 受作距離 始作地點 終了地點 推定 .

以上 作城碑 本碑 中古期 身分制 · 力役動員問題 等
事實 筆者 金石文 古代史 知識 不足 檢討
解釋 誤謬가 . 第二 · 第三 作城碑가 發見
解決 .

(附記 :本稿 碑文判讀 가 助言 , 任昌淳 文化財委員, 金哲埈 韓國精神文化研究院長, 新羅文化同人會 尹京烈 · 金源周 先生, 韓國古代史研究會 盧重國 · 朱甫噉 · 李文基 · 崔光植 · 金昌浩 · 李炯佑 教授, 慶州博物館 李蘭暎 館長 · 李康承 學藝研究室長 學藝研究室職員 紙面 表 .)

(國立慶州博物館 學藝研究士)